

空火照

そろそろほぐり

夕焼けを、美しく言い表されてきた言葉のひとつ。暑さが残る夏の時期の夕焼けは、空が火照っているよう。熱気に満ちた一日が終わり、ほっと一息つく時間。それは、天も同じなのかもしれません…。畑での仕事終える頃に、夕焼けは、ほによって色合いが微妙に異なっています。そんな変化にも密かな楽しみのひとつであり、一日頑張った褒美です。

亀岡・美山にあるこの畑は、今年独立した先輩農人の畑。すらすらと天に伸びる九条ねぎ、キレイで、美味しいうららかな収穫が楽しみになる畑。

亀岡・美山の山間地では夜温がグッと下がり、暑い夏でもねぎたちにとって育ちやすい環境。盆地で温度が上がりがやすい市内の畑とはまた異なり、ふっと吹く風が気持ちいい。

ことねぎだより

古都・事・言 3つの「こと」を伝えます

今月のことねぎ

今月、みなさまにお届けする九条ねぎが京都でどのように育ったものなのか、物語（事）を少しでも知っていただき、より美味しく召し上がっていただければと思います。

収穫して実感、すらすらキレイな夏葱をお届けできる喜び

先月からお届けが始まった「夏葱」、美山と亀岡からお届けします。

4月下旬から5月頃に、春から初夏にかけての気持ち良い風を感じながら定植したものの。農人たちが夏に向けて体力をつけていたことも思い出します。育つ環境が良いということが、ねぎを手にとってみて実感。収穫する時も、工場で調整作業するときも、立派に育ってくれたなあとねぎを手にして私たちも笑顔になりました。風味、味わいの良さを実感していただけたら何よりです。



NO.147
2019年8月号
TEL: 075-601-0668

こと京都株式会社



農人たちの畑での作業の様子、THE 農業！の現場の「こと」を発信

独立農人たちの初収穫！

昨年まで独立研修生だった2名が独立後、初めて育てたねぎの収穫を行いました。とても綺麗で良いねぎを作っていて、一緒に働いていた仲間が生産したねぎを収穫する時は格別のものがありますね。皆が自然と笑顔になり、楽しいひとときを過ごせたのが印象的でした。



作業後の束の間の休息。。。

独立研修生の農人たちは今現在、夏の暑さを実感しながら収穫業務に励んでくれています。「何年で独立するのか？」という問いに対して、皆それぞれでイメージを持っているようです。研修生制度ができて今年で6年目、今まで独立された先輩たちが残してくれた道筋があるからこそ、未来像が膨らむようです。未来の社長業に向け、コツコツ経験を積み重ねています。

梅雨明け、いざ夏本番

湿気は多く、1日作業をすると農人たちは汗びっしょり、こまめな水分補給など体調管理も大切な仕事です。

梅雨による雨が続き、畑の畝間に水が溜まって湿気も多くなり、あまり良い環境ではありません。病気や生育不良を防ぐため、梅雨明けすぐに殺菌剤や酸素剤を散布して畑のねぎたちを守り続けています。そのおかげで、日照不足で他の野菜の生育不足が多い中、ねぎは元気に成長しています！



地道な畑の生育管理が必要です